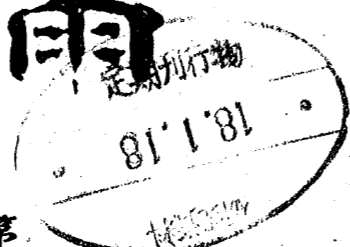


滿業

第五十二號

康德九年十二月十五日發行



目次	
滿洲鐵礦株式會社	一
滿洲煤礦株式會社	二
滿洲鑛業株式會社	三
滿洲鑛業株式會社	四
滿洲鑛業株式會社	五
滿洲鑛業株式會社	六
滿洲鑛業株式會社	七
滿洲鑛業株式會社	八
滿洲鑛業株式會社	九
滿洲鑛業株式會社	十
滿洲鑛業株式會社	十一
滿洲鑛業株式會社	十二
滿洲鑛業株式會社	十三
滿洲鑛業株式會社	十四
滿洲鑛業株式會社	十五
滿洲鑛業株式會社	十六
滿洲鑛業株式會社	十七
滿洲鑛業株式會社	十八
滿洲鑛業株式會社	十九
滿洲鑛業株式會社	二十
滿洲鑛業株式會社	二十一
滿洲鑛業株式會社	二十二
滿洲鑛業株式會社	二十三
滿洲鑛業株式會社	二十四
滿洲鑛業株式會社	二十五
滿洲鑛業株式會社	二十六
滿洲鑛業株式會社	二十七
滿洲鑛業株式會社	二十八
滿洲鑛業株式會社	二十九
滿洲鑛業株式會社	三十
滿洲鑛業株式會社	三十一
滿洲鑛業株式會社	三十二
滿洲鑛業株式會社	三十三
滿洲鑛業株式會社	三十四
滿洲鑛業株式會社	三十五
滿洲鑛業株式會社	三十六
滿洲鑛業株式會社	三十七
滿洲鑛業株式會社	三十八
滿洲鑛業株式會社	三十九
滿洲鑛業株式會社	四十
滿洲鑛業株式會社	四十一
滿洲鑛業株式會社	四十二
滿洲鑛業株式會社	四十三
滿洲鑛業株式會社	四十四
滿洲鑛業株式會社	四十五
滿洲鑛業株式會社	四十六
滿洲鑛業株式會社	四十七
滿洲鑛業株式會社	四十八
滿洲鑛業株式會社	四十九
滿洲鑛業株式會社	五十

11
67

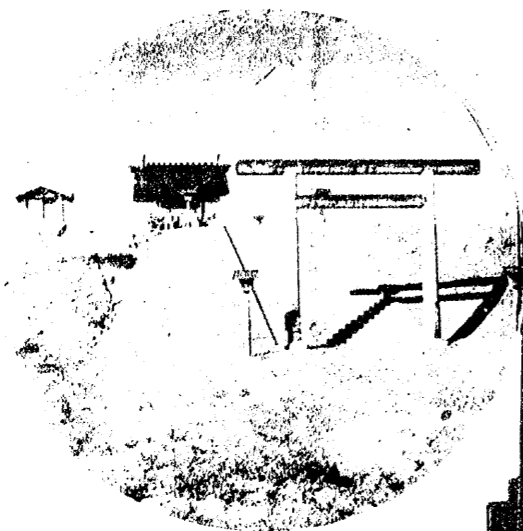
滿洲工業開發株式會社內滿業懇話會

25x

32x

25x

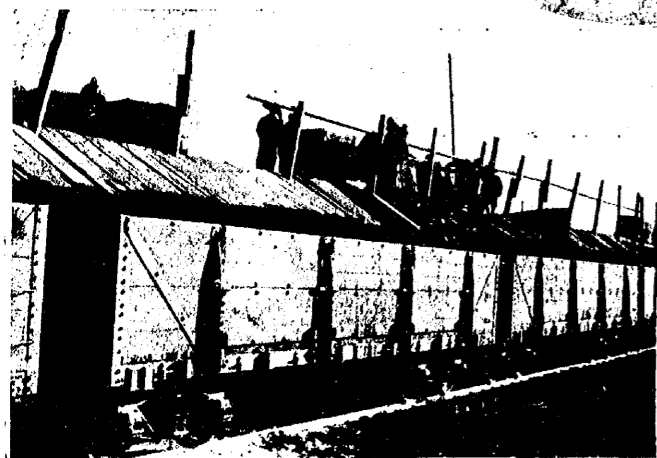
扎賚炭礦特輯



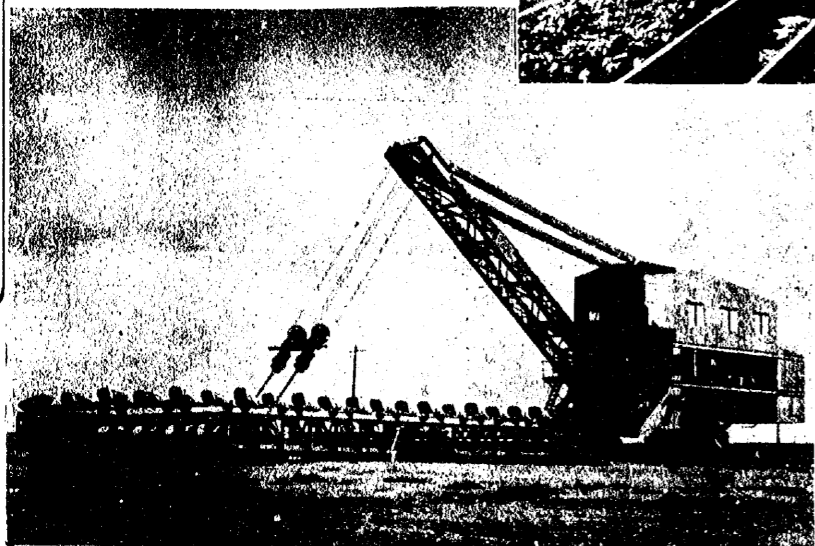
扎賚諾爾神社



橋棧込積炭石



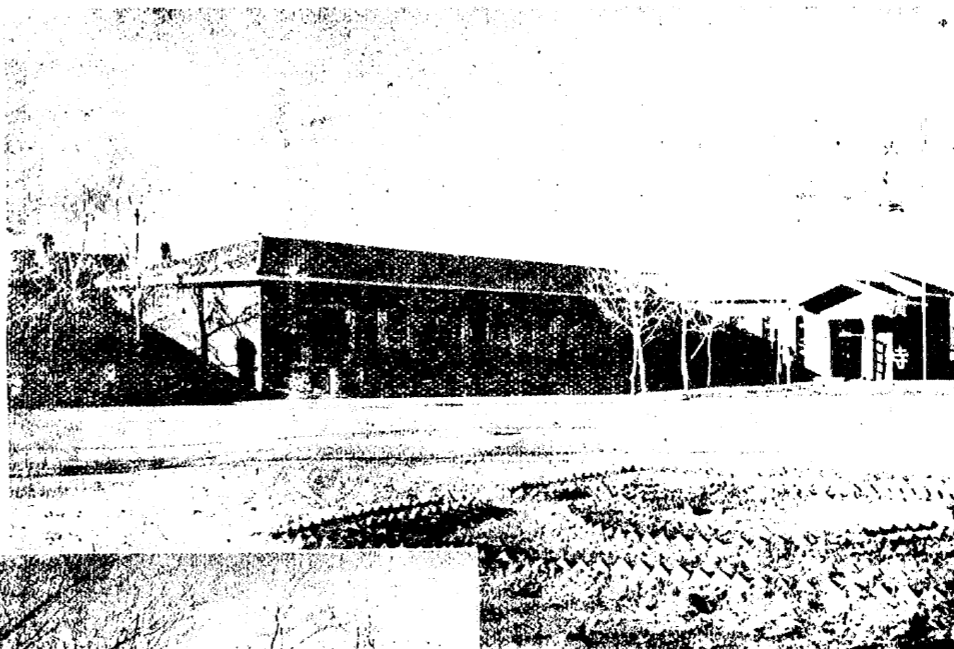
一ターミカスヤヒキ如の物怪



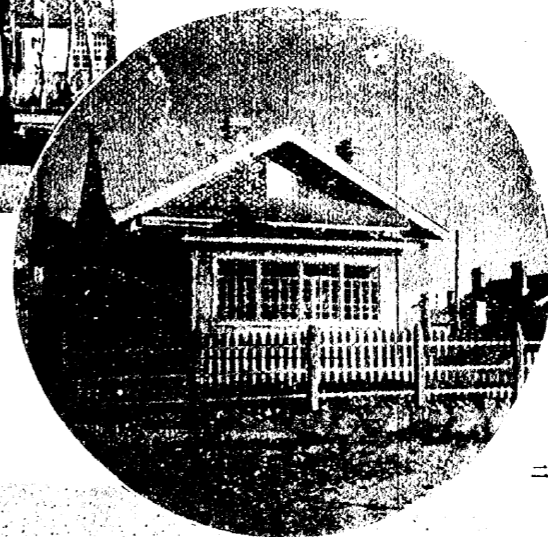
況状の揚捲近附坑一第

扎賚炭礦本部署務所

(竊此四車室檢閱遊)



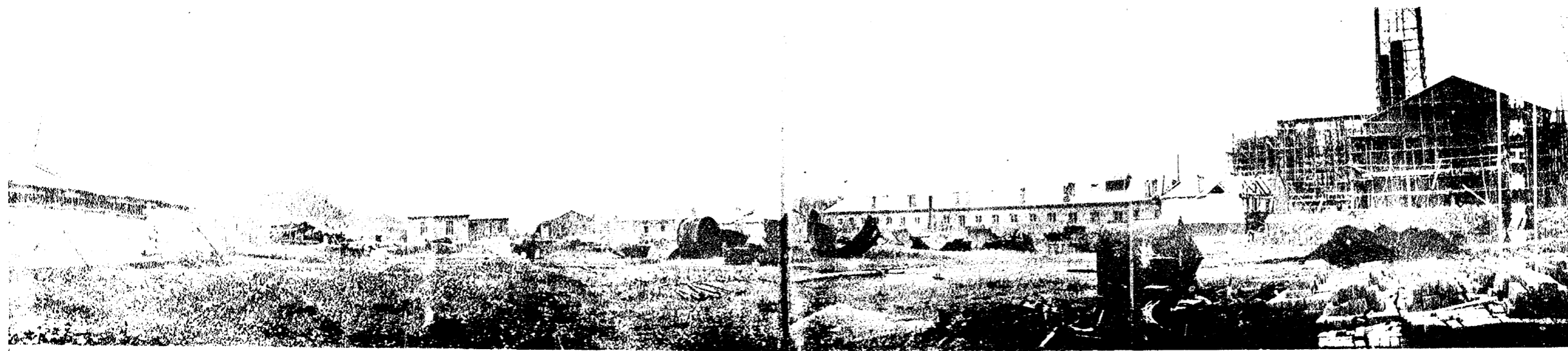
宅社の風堂西露



部樂俱礦炭と庭前部本

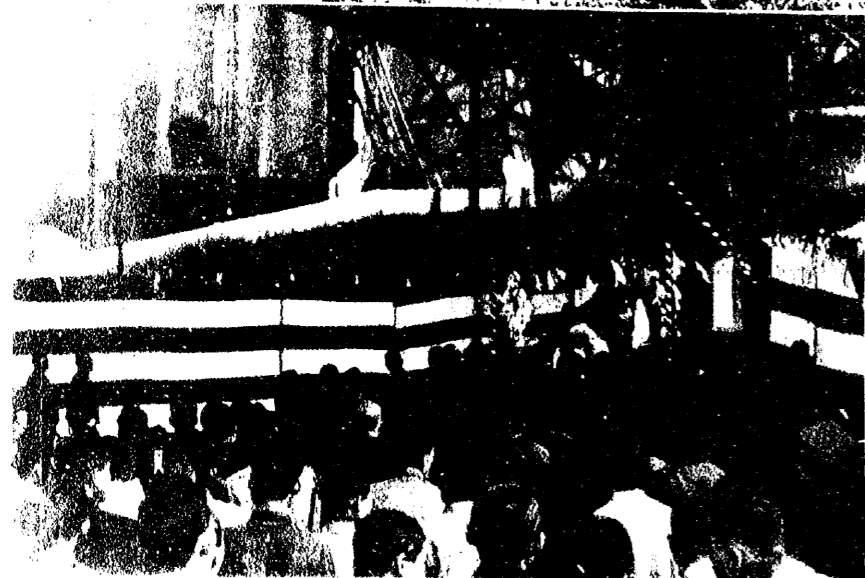
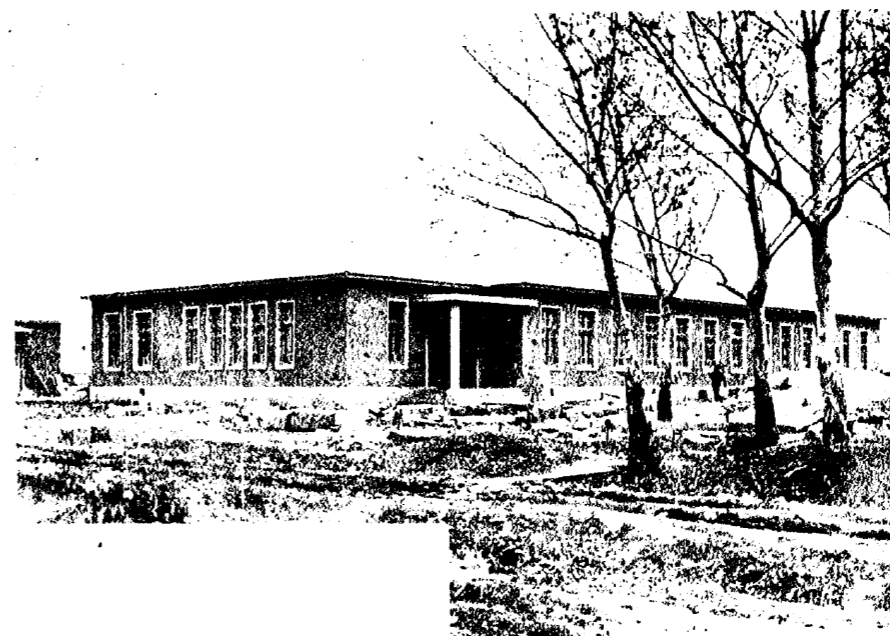
む望を部樂俱び及所務事いて置を河ヤナトーム





建築諸工務局市工務局建築事務所

精製工業本館事務所



創立六周年紀念式典



戰死將士家屬慰靈祭



(十一月十日)

煤鐵藝文大會

(照參報報第)

演劇「石と兵隊」



藝業部の演奏

(十一月十四日)

滿洲重工業開發株式會社

理事會 開催

第四回連絡會議開催

當社では十一月二十九日新東京ヤマトホテルに於て理事會を開催、正副總裁を首魁各役員出席、本年度上半期定時株主總會付議事項を審議し、引續き當面の問題につき協議懇談した。

第四回連絡會議開催

第四回連絡會議は十一月二十八日午前十時より午後五時迄當社會議室に於て開催、當社側よりは正副總裁を首魁として各役員、關係會社側よりは各理事長、社長、之に青木經濟部長、關東軍志甫參謀、鈴木參謀等合計三十名の出席あり、議題として本年度上半期事業実績の検討及下半期並來年度事業計畫を審議し、併せて關係各事業當面の重要問題に付種々懇談協議した。

役員 勳 贈

(87)

勳章、九月十一日(念)勳章を授けられた。十一月二十五日(念)勳章を授けられた。十一月二十五日(念)勳章を授けられた。十一月二十五日(念)勳章を授けられた。



株式會社昭和製鋼所

第三十回理事會 開催

當社第三十回理事會は十一月九日當務理事室に於て開催、第十九回定時株主總會開催に關する件外二件を付議可決した。

第十九回定時株主總會開催

當社第十九回定時株主總會は十一月三十日午後三時より本社當務理事室に於て開催、左記二件を付議原案通り可決した。

- (イ) 康徳九年度上半期營業報告書、貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認ノ件
(ロ) 康徳九年度上半期利益金處分承認ノ件

製鐵報國會第三回綜合協議會開催

當社製鐵報國會第三回綜合協議會は、十一月二十五日午前九時より鞍山高等女學校講堂に於て、會長久保田理事長以下役員並協議會員約二百名出席の下に開催、先づ國民禮儀を行った後、會長告示、各部長挨拶に引續き左記諸事に入り、時局を反影して終始全員極めて熱心に審議を遂げ午後八時閉會した。議案は次の通りである。

第二十三條中役員ノ任期伸長ニ關スル但書ヲ削除ス

新社屋並社宅落成式舉行

今夏新築中の本社々屋並社宅は此程竣功し、二十一日午前十一時か
ら軍官民多数を招いて盛大なる落成式を舉行した。同社屋は地階共三階、
總筋造りの堂々たるものである。

右新社屋の竣功と共に本社事務所の機構をこゝに移し、従來通化驛
前に在つた營業部、事務課及び生計所を舊事務所に移すこととなつた。
尙二道江社宅も約百戸完成し、昨年十月本社機構が二道江移駐以來の
住宅拂底も大いに緩和せられるに至つた。



株式會社本溪湖煤鐵公司

第一回仁號物上擔保附社債發行

當社では今回左記要領に依り第一回仁號物上擔保附社債を發行した。

- 一、發行金額 額 大日本帝國通貨五百萬圓(社債總額貳億圓) 内第四回發行分)
- 一、利率 年四分三厘
- 一、發行價格 額面壹百圓ニ付九拾九圓貳拾五錢
- 一、償還方法及び期限 拾箇年但内貳箇年毎後貳箇年へ毎半年金五萬圓以上ヲ其後へ毎半年金拾萬圓以上ヲ償還 又ハ買入額却シ期限迄ニ完済ス
- 一、利息支拂方法及び期限 毎年五月貳拾五日及拾壹月貳拾五日ノ貳回ニ

各前半年分ヲ支拂フ

保 當社所有工場財團及ヒ營業財團
一、申込期 昭和拾七年拾壹月拾日ヨリ昭和拾七年拾壹月拾貳日迄

一、擔込期 昭和拾七年拾壹月貳拾五日
一、募集委託ヲ受ケタル會社、日本興銀、第一、正金、朝鮮、三井、三菱、安田、第百、住友、三和、野村、東海、神戶各銀行及三井、三菱、安田、住友、三和 各信託

本溪湖工場第一焙鐵爐火入式舉行

當社本溪湖第一焙鐵爐は、さきに吹卸以來鋭意補修工事中であつたが、此の程漸く完成したので第五回日の火入式を十月三十一日午前十一時三十分より同焙鐵爐結床にて厳肅に舉行した。

陸軍大臣より謝辭を拜す

當社は今般官原工場第二焙鐵爐の完成並本溪湖工場第一焙鐵爐の補修完了に當り、東條陸軍大臣より左記の通御懇篤なる謝辭を拜する光榮を得た。

官原第一焙鐵爐ノ完成及ヒ本溪湖第一焙鐵爐ノ補修完了ハ大東亞戰爭完遂ニ貢獻スルトヨロ大ナルモノアリ火入ノ實現ヲ見ルニ力リ建設竣補修ニ從事セラレタル各位ノ御努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表スルト共ニ益製鐵廠ニ邁進セラレシコトヲ切望ス
昭和十七年十月二十六日
陸軍大臣

人事異動 (社報摘錄)

- 副參事ヲ命ス 山 下 實
- 營業部計畫課長兼計畫係主任、測量係主任 副參事 香 月 秀 男
- 通運係探險所長、亞頭山探險所長、草河口探險所長ヲ命ス 營業部計畫課長兼研究係主任
- 營業部長兼通運係探險所長、亞頭山探險所長、草河口探險所長 參 事 澤 朋 次
- 營業ヲ免ス 營業部計畫課長兼研究係主任
- 營業部長附兼選課分析係主任、研究係主任ヲ命ス 副參事 香 月 秀 男
- 右十月一日(各通)

役員勸解

鞍山營業部、十一月六日鞍山出張、同月八日歸社、同月十一日、十二月二十二日、東京出張、同月二十四日歸社、大内營業部、十一月九日新張出張、同月十一日、十一月十六日、東京出張、同月二十一日歸社、井内營業部、十一月二十一日東京出張、同月二十一日歸社。



滿洲重機株式會社

第五回定時株主總會開催

當社では十一月三十日午前十一時より新京本店に於て第五回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。
一、康德九年度上半年營業報告書、財産目録、貸借對照表、損益計算書

人事異動 (社報摘錄)

- 及損失金額分案ノ承認ヲ求ムル件 豐田明
- 二、定款變更ノ件 小野清光
- 定款第二十三條中役員ノ任期伸長ニ關スル但書ヲ削除スルコト
- 第一機械部調査役ヲ命ス 大連出張所主任 嶋 託 荒 木 雄 助
- 建設部建築課調査役ヲ命ス 第一機械部主任 職 員 田 村 岩 男
- 右九月十五日 第一機械部調査役兼企業部調査役ヲ命ス
- 右十月一日

精成工業株式會社

第三回定時株主總會開催

當社では十一月三十日午後一時より新京本社に於て第三回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。

第二十三條中役員ノ任期伸長ニ關スル但書ヲ削除ス

新社屋並社宅落成式舉行

今夏新築中の本社々屋並社宅は此程竣功し、二十一日午前十一時か
ら軍官民多衆を招いて盛大なる落成式を舉行した。同社屋は地階共三階、
總務造りの堂々たるものである。
右新社屋の竣功と共に本社事務所の機構をこゝに移し、従來通化驛
前に在つた營業部、勞務課及び生計所を事務所に移すこととなつた。
向二道江社宅も約百戸完成し、昨年十月本社機構が二道江移駐以來の
住宅地底も大いに緩和せられるに至つた。



株式會社本溪湖煤鐵公司

第一回仁號物上擔保附社債發行

當社では今回左記要領に依り第一回仁號物上擔保附社債を發行した。
一、發行金額 大日本帝國通貨五百萬圓(社債總額貳億圓ノ
内第四回發行分)
一、利率 年四分三厘
一、發行價格 額面壹百圓ニ付九拾九圓貳拾五錢
一、償還方法及び期限 拾箇年但内貳箇年擔保後貳箇年ハ毎半年金五
萬圓以上ヲ其後ハ毎半年金拾萬圓以上ヲ償還
又ハ買入額却シ期限迄ニ完済ス
一、利息支拂方法及び期限 毎半年五月貳拾五日及拾壹月貳拾五日ノ貳回ニ

各前半年分ヲ支拂フ
保 當社所有工場財産及ヒ營業財團
一、申込期間 昭和拾七年拾壹月拾日ヨリ昭和拾七年拾壹月
拾貳日迄
一、拂込期 昭和拾七年拾壹月貳拾五日
一、募集委託ヲ受ケタル會社 日本興業、第一、正金、朝鮮、三井、三
菱、安田、第四、住友、三和、野村、東海、
神戸各銀行及三井、三菱、安田、住友、三和
各信託

本溪湖工場第一熔鑪爐火入式舉行

當社本溪湖第一熔鑪爐は、さきに吹却以來鋭意補修工事中であつたが、
此の程漸く完成したので第五回目の火入式を十月三十一日午前十一時三
十分より同熔鑪爐鑄床にて厳肅に舉行した。(當社電報)
陸軍大臣より謝辭を拜す
當社は今般官原工場第二熔鑪爐の完成並本溪湖工場第一熔鑪爐の補修
完了に當り、東條陸軍大臣より左記の通御懇篤なる謝辭を拜する光榮を
得た。
官原第二熔鑪爐ノ完成及ヒ本溪湖第一熔鑪爐ノ補修完了ハ大東亞
戰爭完遂ニ貢獻スルトコロ大ナルモノアリ火入ノ實現ヲ見ルニ方リ
建設並補修ニ從事セラレタル各位ノ御努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表
スルト共ニ益擧報國ニ邁進セラレテコトヲ切望ス
昭和十七年十月二十六日
陸軍大臣

人事異動 (社報摘錄)

副參事ヲ命ス 山下 實
營業部計畫課長兼計畫係主任 測量係主任
通達係探礦所長 歪頭山探礦所長、草河口探礦所長ヲ命ス
營業部長兼通達係探礦所長 歪頭山探礦
所長、草河口探礦所長 參事 豐澤 朋次
兼務ヲ免ス 營業部計畫課長兼研究係主任
副參事 香月 秀男
營業部長附兼選課分析係主任、研究係主任ヲ命ス
右十月十日(各通)ヲ

人事異動 (社報摘錄)

及損失金額分案ノ承認ヲ求ムル件
二、定款變更ノ件
定款第二十三條中役員ノ任期伸長ニ關スル但書ヲ削除スルコト
職員ヲ命ス 豐田 明一
建設部建築課調査役ヲ命ス 小野 清光
右九月二日
職員ヲ命ス
營業課長ヲ命ス 大連出張所主任 堀 龍 荒木 雄助
右九月十五日
第一機械部主任 職員 田村 岩男
第一機械部調査役兼企業部調査役ヲ命ス
右十月一日



滿洲重機株式會社

第五回定時株主總會開催

當社では十一月三十日午前十一時より新京本店に於て第五回定時株主總
會を開催、左記議案を付議可決した。
一、康徳九年度上半期營業報告書、財産目録、貸借對照表、損益計算書

精炭工業株式會社

第三回定時株主總會開催

當社では十一月三十日午後一時より新京本社に於て第三回定時株主總
會を開催、左記議案を付議可決した。

一、康徳九年度上期營業報告書、貸借對照表、財産目錄、損益計算書及損失金額分案ノ承認ヲ求ムル件
 二、定款變更ノ件
 一、定款第四條ヲ「本會社ハ本店ヲ哈爾濱市ニ置キ必要ナル地ニ支店ヲ置クコトヲ得」ニ改ム
 二、定款第十六條ヲ「定時株主總會ハ毎年五月及拾壹月臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ本店所在地又ハ新京特別市ニ於テ之ヲ招集ス」ニ改ム
 三、取締役辭任ニ付補缺選舉ノ件
 取締役 玉井廣輔氏(矢野取締役ノ補缺)

密山炭礦株式會社

第二回定時株主總會開催
 當社では十一月三十日午前十一時より東京市麹町區丸の内一(二)工業俱樂部に於て第二回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。
 一、本年度上期決算ニ係ル財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書並損失金額分案承認ノ件
 二、定款中一部變更ノ件
 定款第十三條中「定時株主總會ハ毎年十一月及五月之ヲ招集シ」とあるを「定時株主總會ハ毎年十二月及六月之ヲ招集シ」に改む。



瀋陽炭礦株式會社

第二回定時株主總會開催

當社では十一月二十八日午後一時より瀋陽市本社に於て第二回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。
 一、第二期決算ニ係ル營業報告書、財産目錄、貸借對照表、損益計算書及損失金額分案ノ承認ヲ求ムル件
 二、定款中變更ノ件
 定款第二十二條中役員ノ任期伸長ニ關スル但書ヲ削除ス
 三、財産(營業權)ヲ政府ニ無償寄附ノ件



滿洲工作機械株式會社

企業委員會規程制定

當社では、時局下内外情勢の推移に敏捷に對應接應し、之に則應せる諸業の完全なる運営を圖り、社内各部署にある者は各々其の本分を盡し、各業務相互の連絡を緊密ならしめ、上意下達、下情上通の路を拓き

内外情勢を常に察知認識し、業務の進展と之が完全なる遂行を期する目的として企業委員會を設置、十二月一日附を以て之が規程を制定したが、同委員會は社長を委員長とし、役員、部長並係長より委員を任命、社内を生産、資材、勞務、建設、經理、教育養成、福祉其他一般業務の七部門に分ち、委員會の機能の完全なる運営を圖ることとなつた。

人事異動 (社稱補替)

經理部長 職員 八木 敏雄
 經理部計算課長兼務ヲ解ク 高見 信雄
 職員ニ任ス
 經理部計算課長ヲ命ス
 右十二月一日



滿洲鉛鋅株式會社

第十回定時株主總會開催

當社では十一月三十日午後三時より奉天市本社に於て第十回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。
 一、康徳九年度上期營業報告書、貸借對照表、財産目錄及損益計算書承認ノ件
 二、康徳九年度上期利益金額分案承認ノ件



滿洲特殊鐵鋼株式會社

第四回定時株主總會開催

當社では十一月三十日新京に於て第四回定時株主總會を開催、左記議案を付議可決した。
 一、康徳九年四月壹日ヨリ同年九月參拾日ニ至ル康徳九年度上半期間ノ營業報告書、財産目錄、貸借對照表、損益計算書及損失金額分案ノ承認ヲ求ムル件
 二、役員賞與又ハ之ニ代ルベキ賞總額決定ノ件
 三、取締役一名補缺選舉ノ件
 取締役藤田政輔氏十月五日辭任に付補缺選舉の結果左の通選任さる。
 取締役 村 山 威 士 氏

増資新株第一回拂込完了

當社増資總額貳千萬圓の第一回拂込金五百萬圓也日滿鐵及滿洲鐵山により去る十月三十日夫々拂込を了した。

滿洲選鐵鋼株式會社第二回株式拂込

既報の如く當社投資會社たる滿洲選鐵鋼株式會社は、去る九月二十一日開催の同社取締役會に於て、建設事業の進展に伴ふ第二回株式拂込を決議した。仍て當社では十月三十日引受分參萬七千五百圓也の拂込を了した。

